

☆竟和敵方大將
正面對峙——

アアアア

逃げ上手若君

第92話 被罵了1335

まつい ゆうせい
松井優征

武藏國 井出澤

※東京都町田市附近





直義！

足利……



兄長

※赤橋大人
在屋裡等您



看招

您無路
可逃啦
少主！

啊哈哈
慢點
慢點……

※北條守時。尊氏的夫人



不行

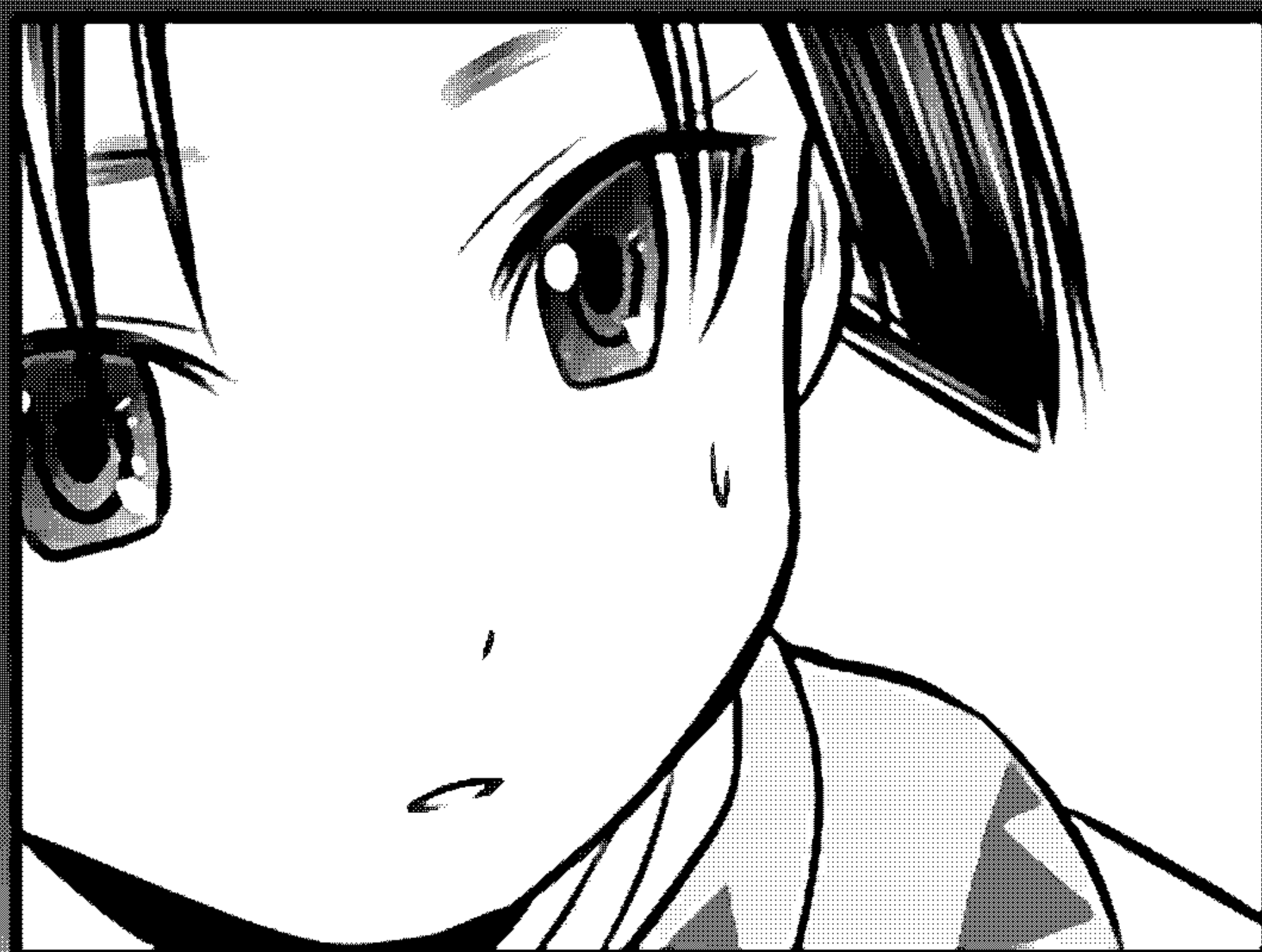
岳父閣下嗎
我們昨天就
見過面了啊
今天就
不用了吧

眼·下·還·請·您
重·視·這·段·關·係



那麼少主
我們該
告辭了

是 是



雖然禮儀端正
眼神卻
始終冰冷

這個男人的內心
我實在無法看透



：對方也
佈陣完畢了

該出擊了



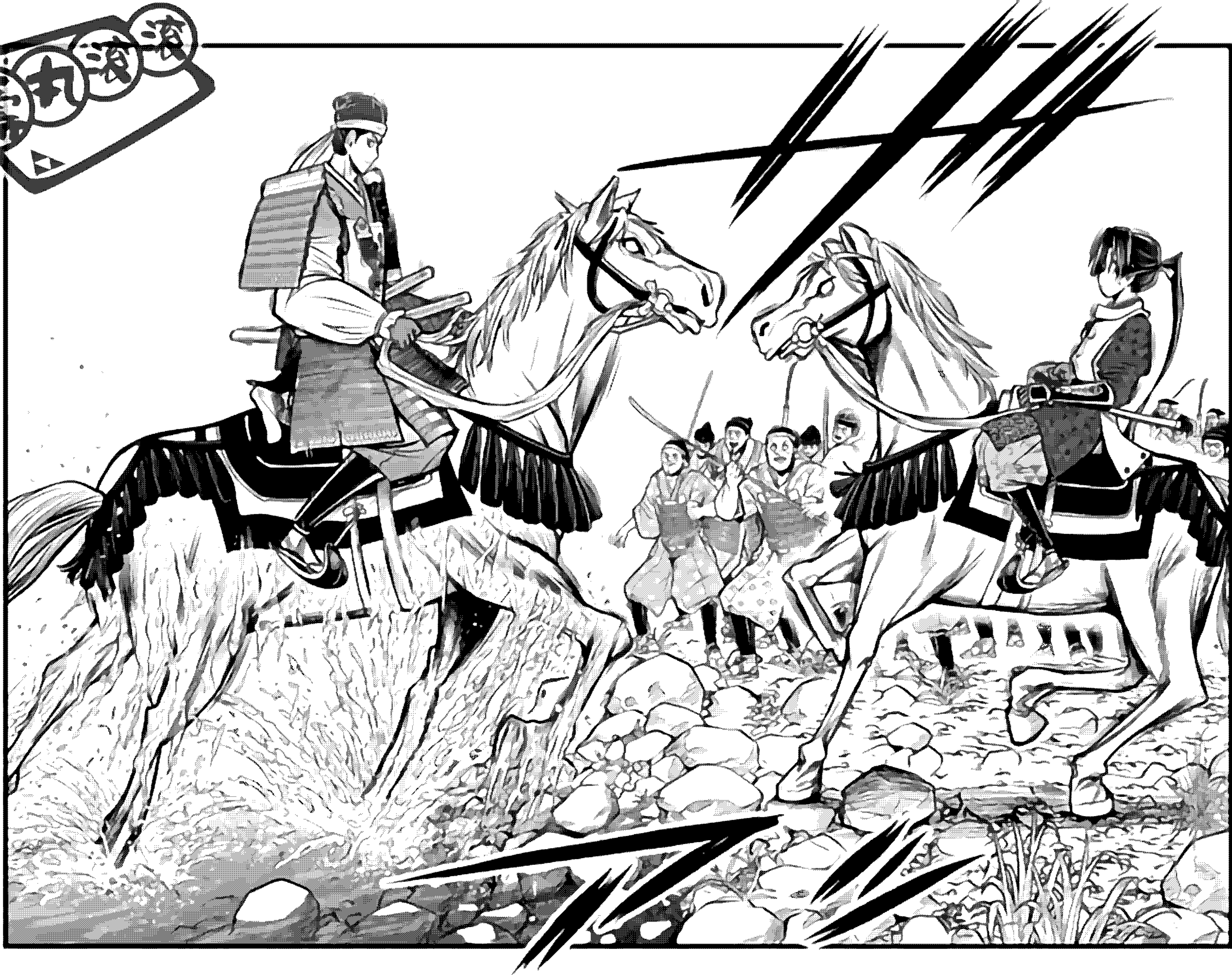


若無其事地
渡河而來

不帶護衛
單槍匹馬



高深莫測的
尊氏之弟



將領
勇敢地
單刀赴會

被氣勢壓倒
不敢妄動

身為武士
就只有暗自
稱讚的份



你……
你們不去
抓住他嗎



……在這樣的
氛圍下太難了

好久不見
時行殿下

與我底番眾

交戰後的感想
如何啊

之前在諏訪的
御射山祭上
見面時

雖說年輕人
都很優秀
但也尚未達到
一騎當千的境界

是你
促使他們覺醒
並加以統率

此等馭人之術
只能說
高明至極

相見

你為了
足利家
為了變強而
創造的
幻想中的女孩……

我也為她
感到自豪

磨練自己的道路
有千萬條

為此
就無庸

足利家一流
武士啊



承蒙明神謬讚
不勝榮幸

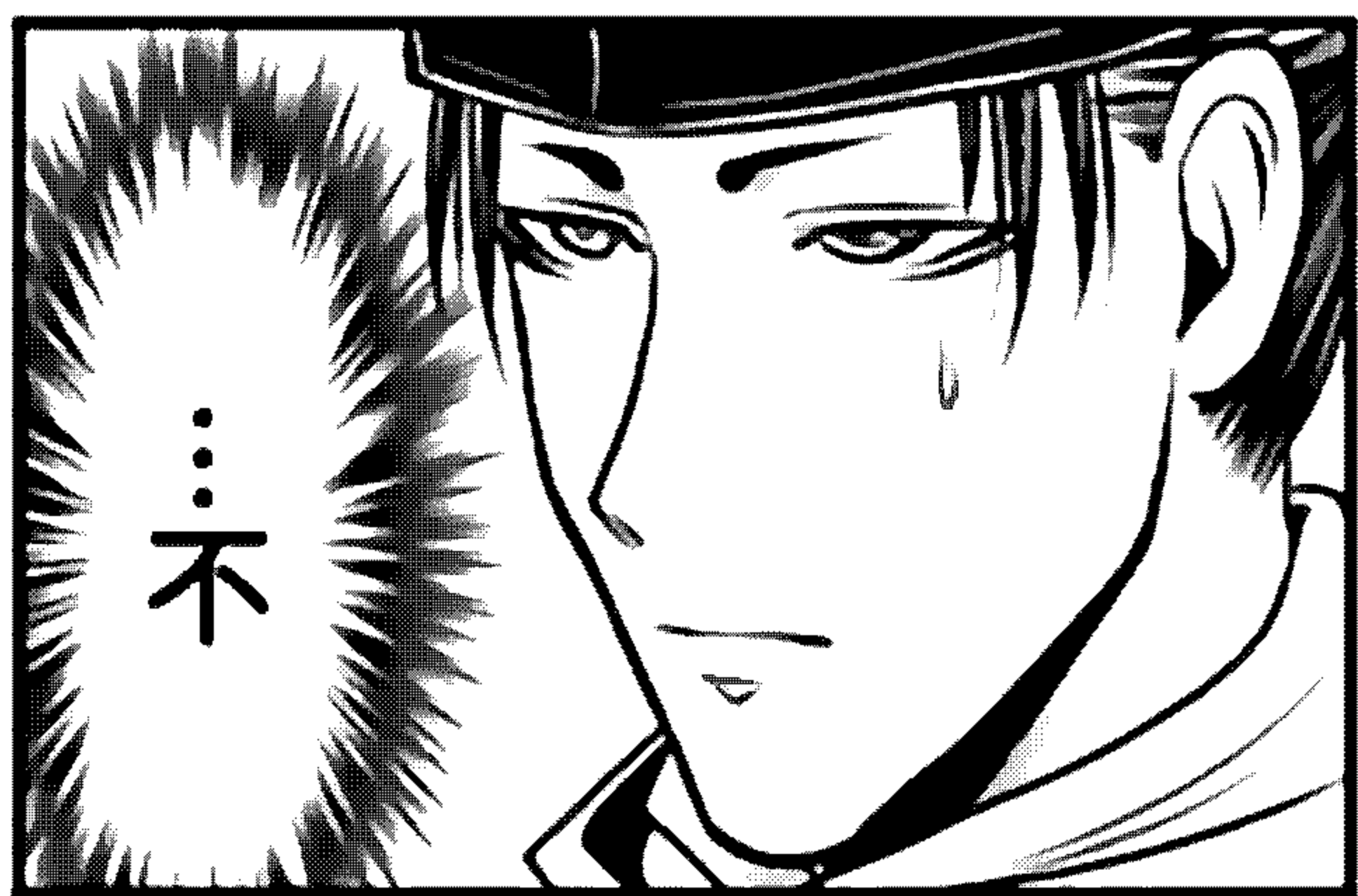


不過 我身為
最關鍵的總帥
卻不擅長作戰

只能用這
三寸不爛之舌
來交涉了



你確實
不擅長
老實待在鎌倉
等待援軍才是
正確的決策



…不

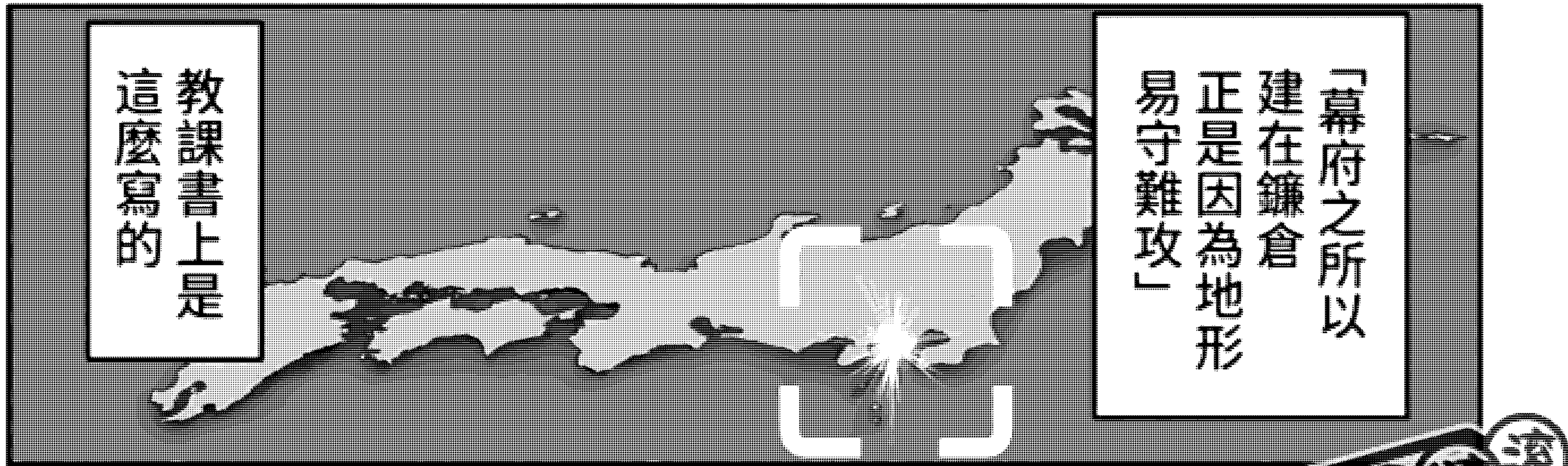


離開鎌倉
這一舉措…

正是這個男人
優秀戰略眼光的
體現

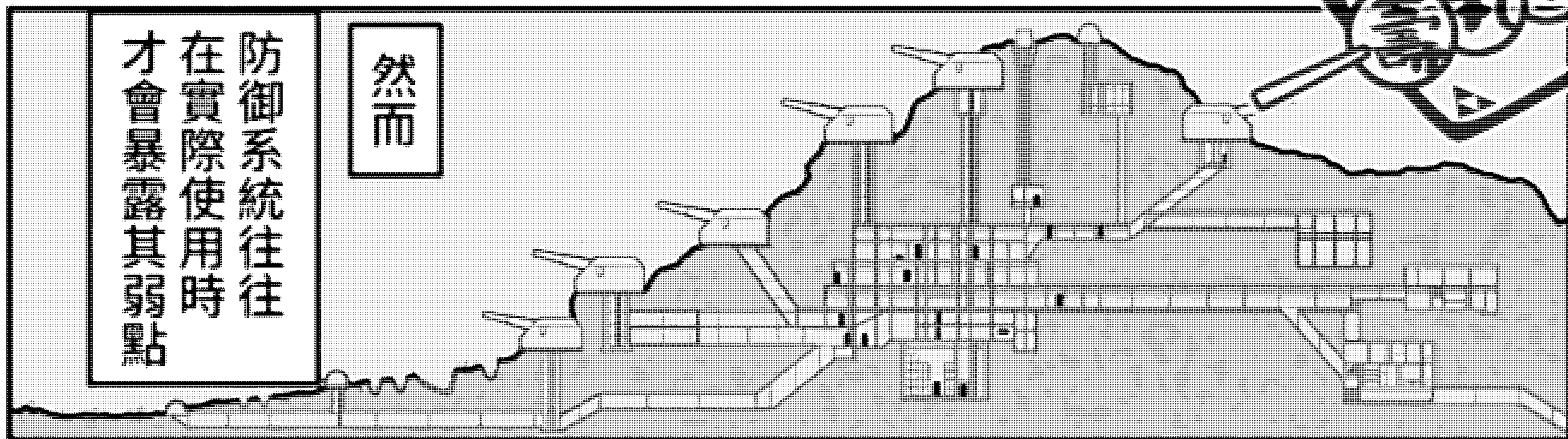
「幕府之所以
建在鎌倉
正是因為地形
易守難攻」

教課書上是
這麼寫的



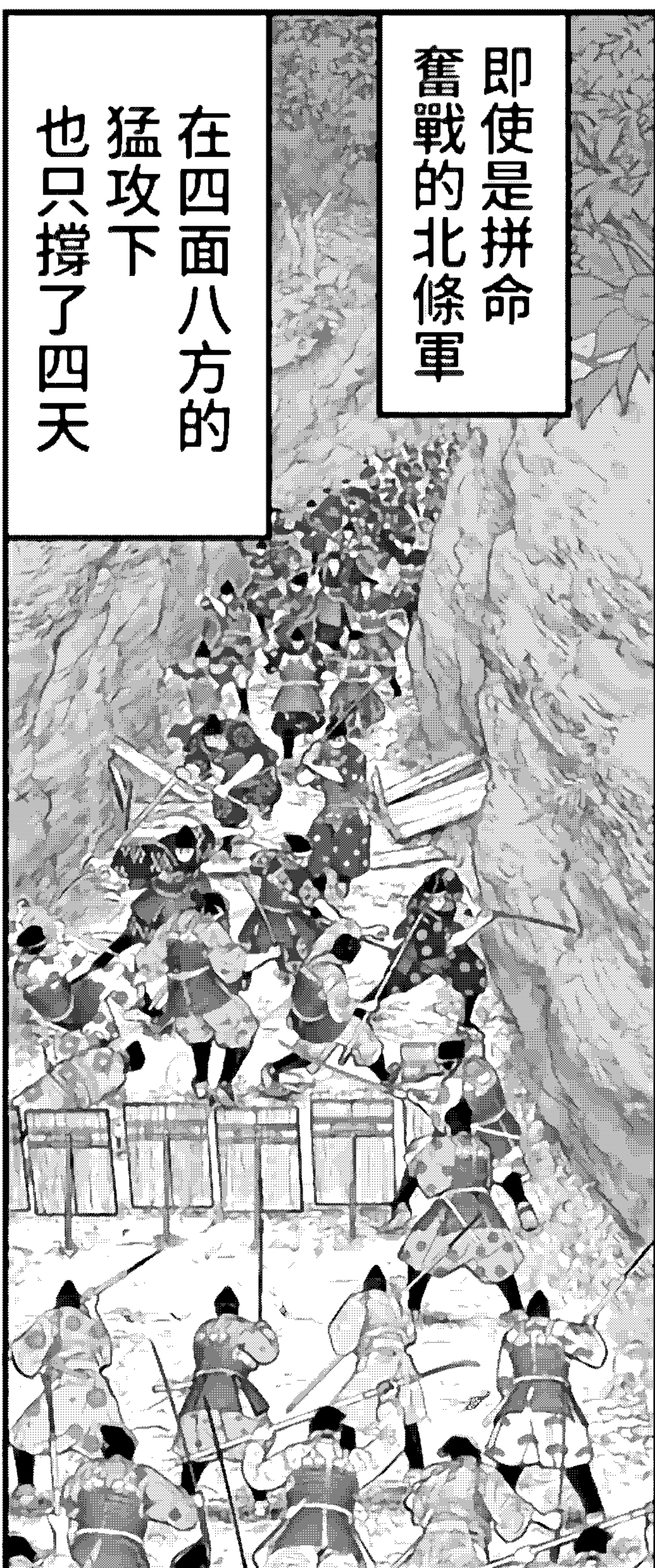
然而

防禦系統往往
在實際使用時
才會暴露其弱點



即使是拼命
奮戰的北條軍

在四面八方的
猛攻下
也只撐了四天



鎌倉

「鎌倉的
天然防禦
派不上用場」

直義或許是
第一個意識到
這點的支配者



此後再也沒有
一個大名：

蟄伏在
鎌倉待戰
更證明了
他卓越的
戰略眼光

這絕非
單純的
不擅長作戰

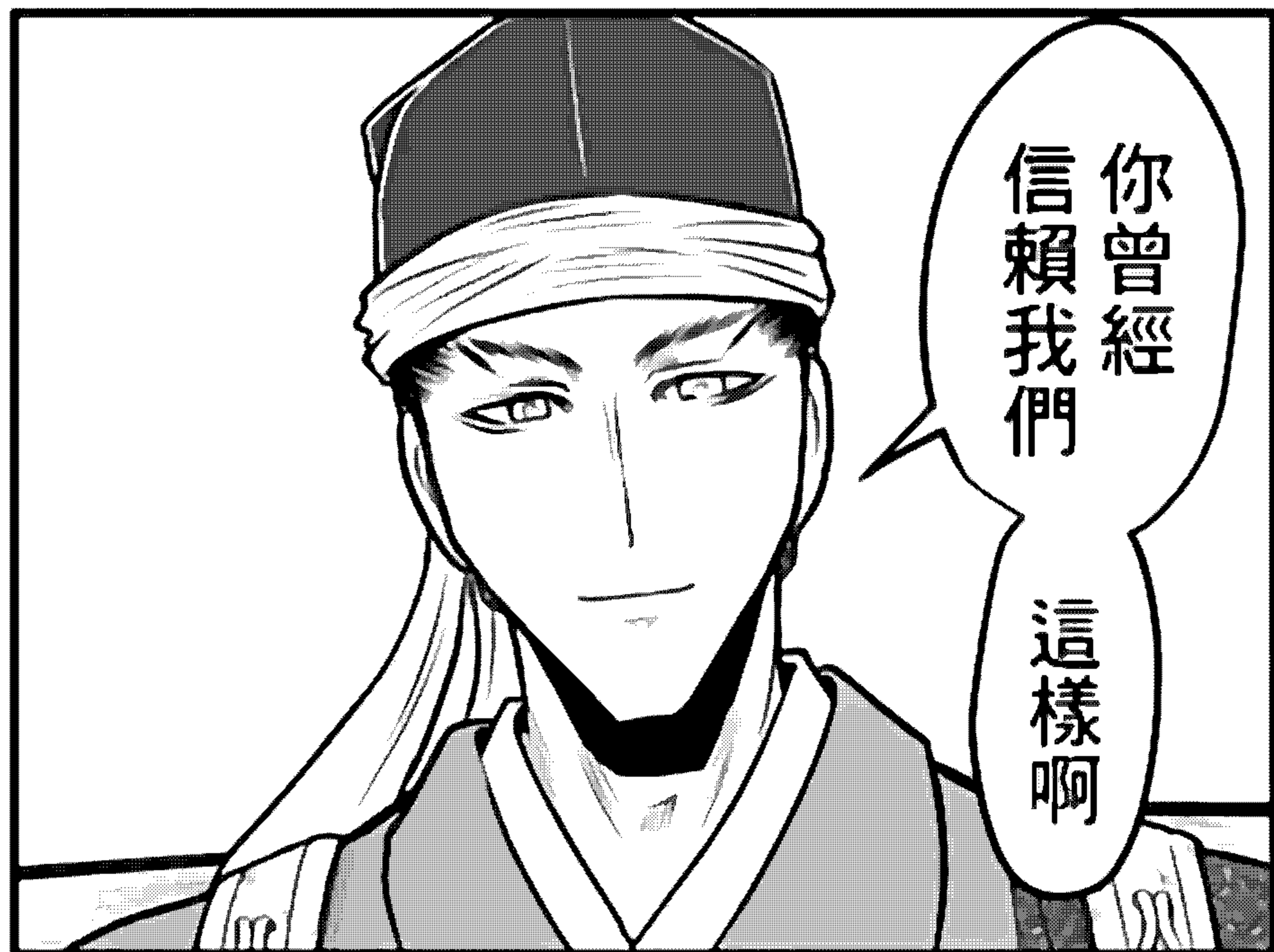
足利直義究竟
有何企圖！？

那麼

快投降吧
時行

我去
和聖上協商
爭取免除
你的死罪

!?

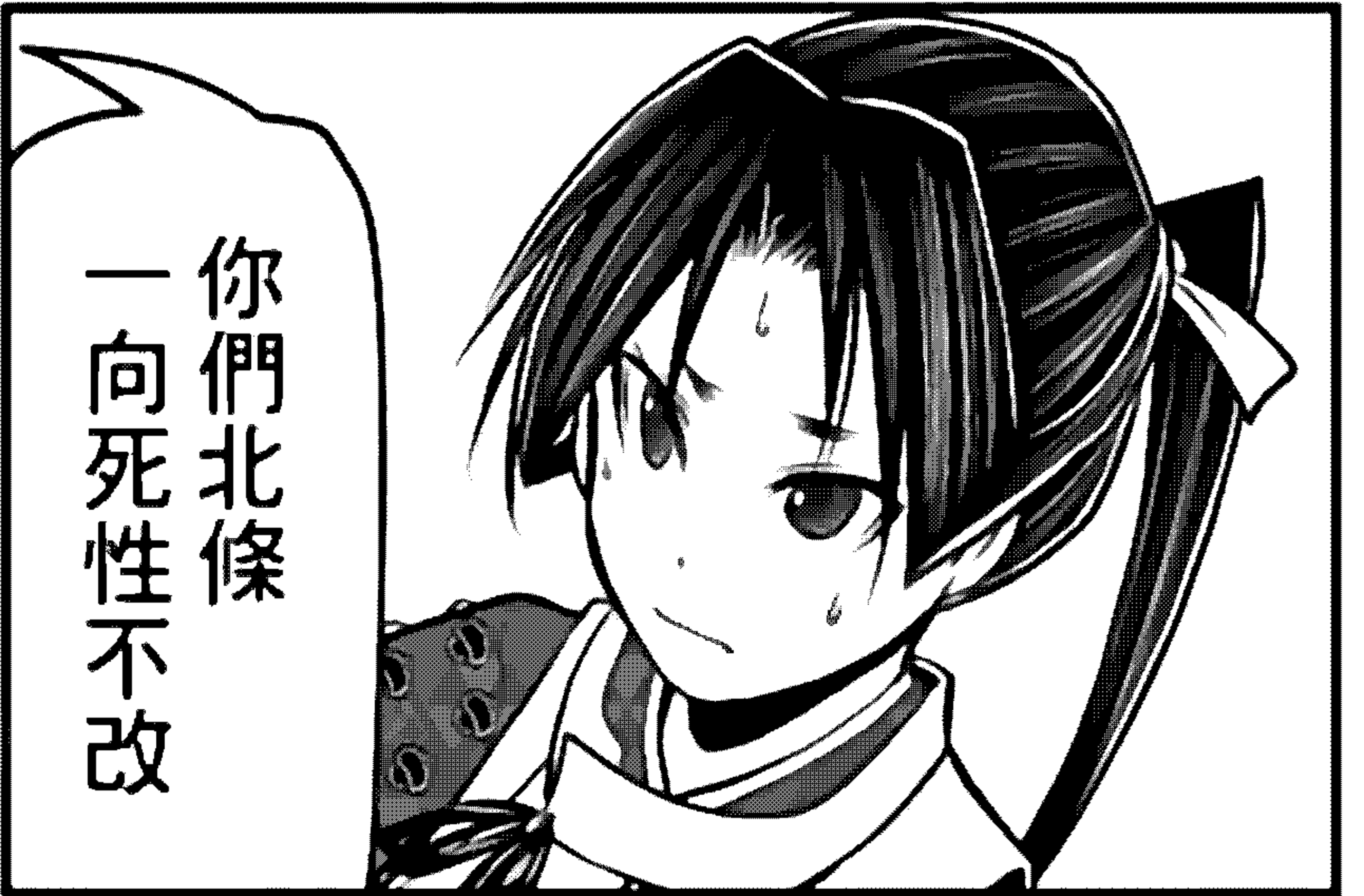




武士一旦
決定相信旁人

就必須親自
承擔後果！







這幅景象
宏觀看來



洪亮的聲線

詭辯與偏見中
夾雜著正當言論
連北條軍聽罷
都陷入沉默



就如秉持真理的
大人在訓斥
做錯事的孩子

這下
還沒開戰

雙方將領和兩軍的
等級差就快落實了！

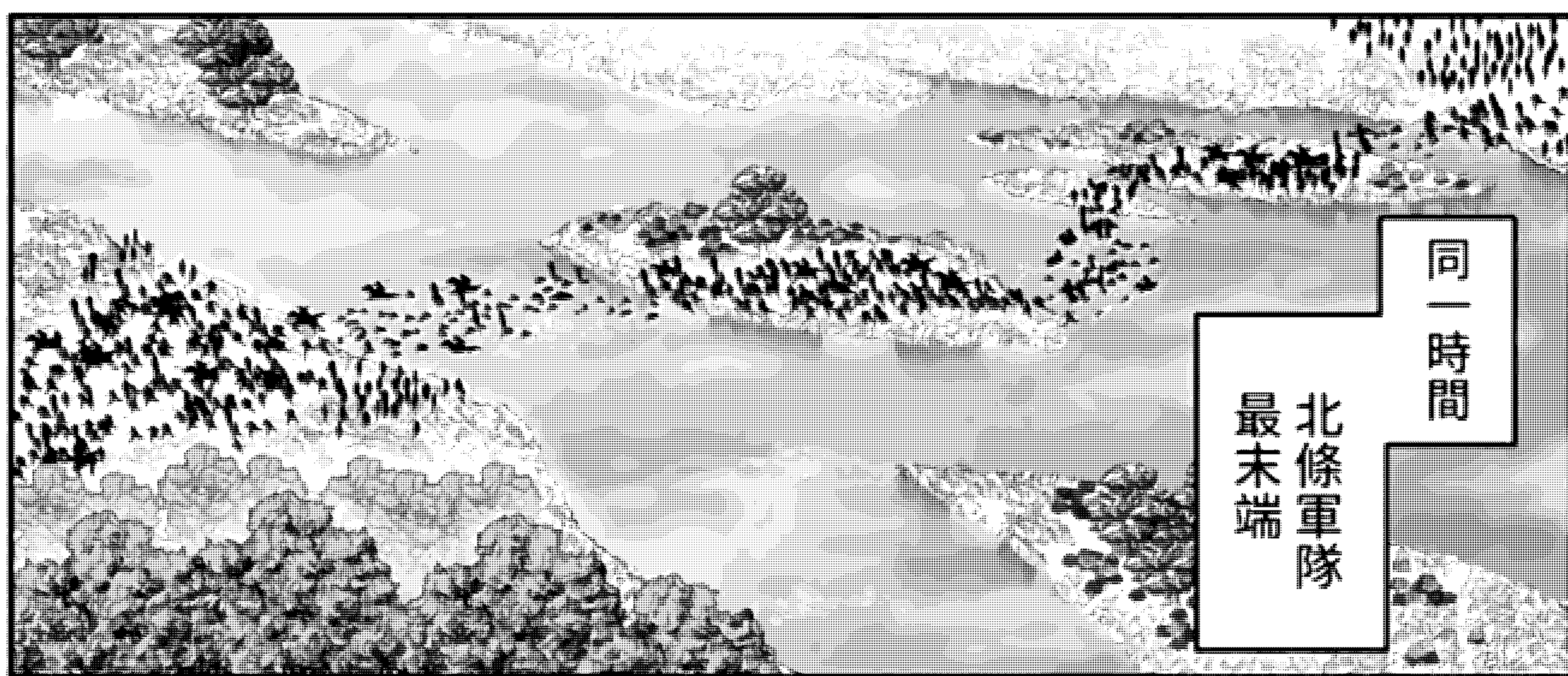
若在口頭上
輸給這個智者

實戰中也
必會慘敗！



他刻意
孤身一人前來

就是爲了
挑起言語紛爭
營造這種情形！



同一時間

北條軍隊
最末端



北條軍已
成功度過
多摩川

那就是
全軍嗎
吉良殿下？

沒錯

總數兩萬
四千一百五

自舉兵開始
就一直在監視
老朽的情報
絕不會有錯w



敵陣前是
直義大人的
兩萬一千騎

背後是老朽和
小山殿下的
五千騎

數量佔優
夾擊佈陣也
完成了w

足利派武將
小山秀朝

多摩川

來
決戰吧

按直義大人的
計策河川和
軍隊會堵住
他們的退路

井出沢

遙遙跟在隊尾的
我們則依次解決
後面的敵軍

趁直義大人
還在談話
爭取時間

消磨
時行意志的
空檔！



…直義

尊氏常為有你
這樣聰慧的弟弟
而自豪

冷淡的你也只會
在兄長面前展露
天真的笑容
你們的關係
好到令人欽羨

既然如此

我痛失兄弟的心情
想必你也能夠
體會吧！

…不錯

…開始
組織
語言了

是打算
推翻我直義的
言論嗎

我不會逃！

距抵達
鎌倉只有
一步之遙了！

那我問你
足利直義！

你們的正義
究竟體現
在哪裡！？

★賭上威信的辯論開幕！

少主溜得快

第92話

本話完

禁營利禁請漫禁盜轉

@

解説上手の若君

拠点として優れていた鎌倉も、戦の変化で弱点が露わに…!

解説 本郷和人

1960年、亀有生まれ。歴史の研究者である東京大学史料編纂所の教授。おっちゃんといわれてテレビや雑誌にも出演する。

鎌倉の防衛について

問

鎌倉の防衛力は高くなかったの？

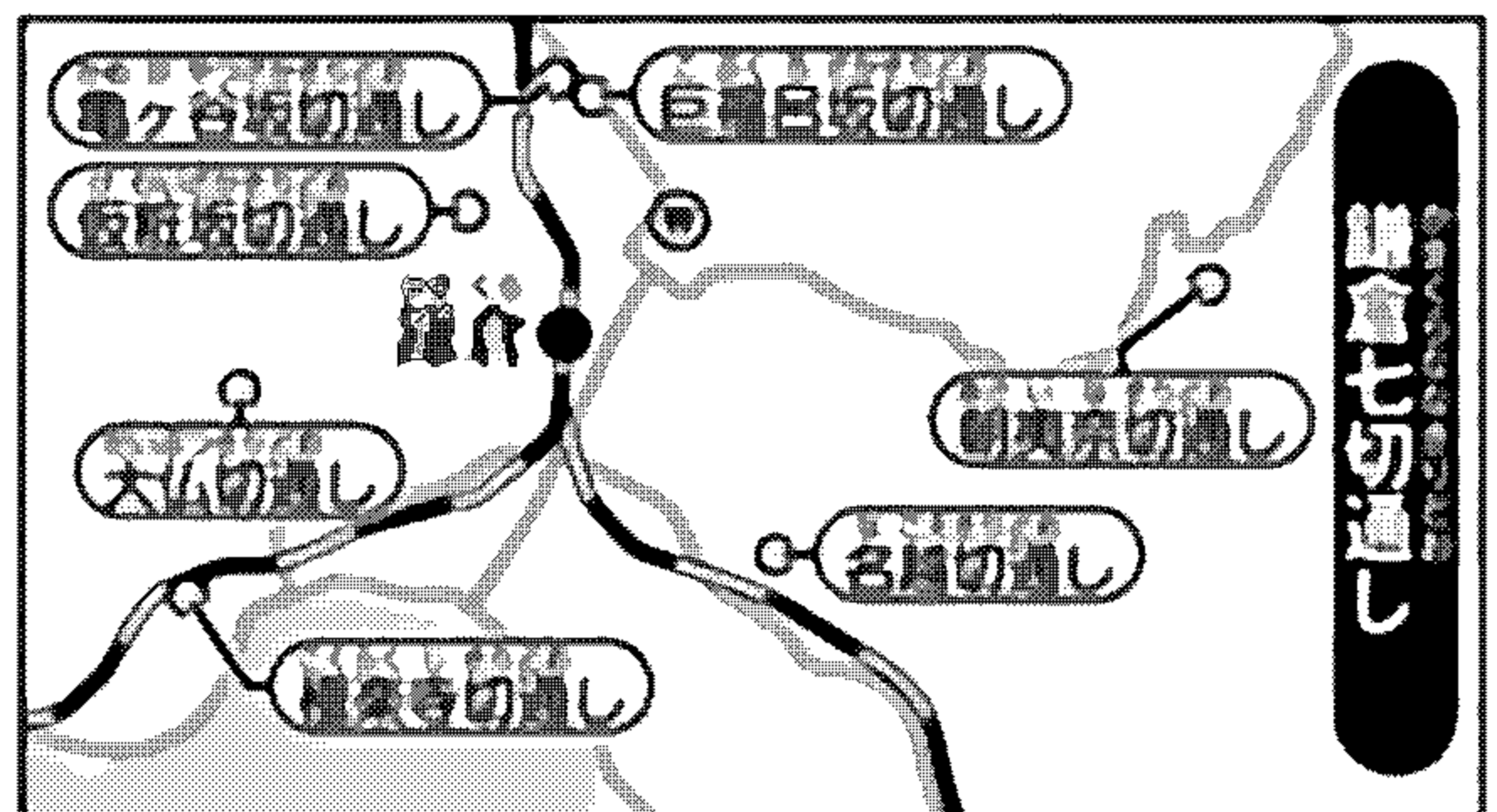
やつペー。テレビで何度、「鎌倉は防御に優れています。三方が丘陵で一方が海、鎌倉城なんて言い方もあるんですよ」と繰り返してきたか…。はつきり言います。ウソです。だってそう言え、つてテレビの方たちに頼まれたんだもの。もう大河ドラマも終わるからいいか、いやあしかし、それを初めに見抜いたのが、直義殿だったとは。いや、鎌倉幕府の草創期だと、鎌倉の守りはバツチリ、はあながちウソじゃあないんですよ。戦いが小規模だったから。攻める側が少ない兵力、守る側も少ない兵力という条件なら、切通しでの防御は有効なんです。でも、南北朝時代に兵力は格段に増えました。たくさん兵がすごい勢いで攻めてくる。この時、切通しの上に配置できる防御の兵は、圧倒的に足りなかったんです。

実際に現地を見たことがある人は分かると思いますが、切通し上部は、アンバランス。こんなところに人は足場を定められない。ということはその中には少数の兵しか置けないし、長時間の滞在で監



鎌倉防衛の要切通し

鎌倉を囲んでいる山の一部を切り開いて作った細い道を「切通し」と呼ぶ。その中でも、特に重要な7つの道は「鎌倉七切通し」と呼ばれている。



→防脚が固いとされていた鎌倉だが、新田義貞のように攻められれば落とされる。直義の鎌倉の外で戦うという判断は古と出るか、内と出るか？



視するのにもムリ。いざ敵が来ても、足場がグズグズで弓をキチンとは引けない。武器の保管場所もない。そうすると、攻める側がある程度の犠牲を覚悟するなら、盾で上方を守りながら、数を頼りに突破することが可能になっちゃう。しかも海で守られている、もウソで。海は深くない。遠浅なんです。だから、徒歩でも渡れてしまう、馬なら余裕で箇所があるんです。論より証拠、新田義貞は桶村ヶ崎から鎌倉市街に攻め入ってますね。宝剣を投じたら潮が引いたとかの伝説はありますが、義貞は引き潮になったら渡るつて知ってたんです。そういうわけで、南北朝時代以降の鎌倉は、防御に適さない土地になりました。実際に歴史を見ても、このあと鎌倉を舞台にした防衛戦はないわけですし、ある時期からの鎌倉公方(第2の将軍)は、鎌倉にいたらやられる、というので伊豆の堀越とか、下総の古河とかに居住するようになったのです。

卷末語

今年也順利奮戰到底了！
明年也請多關照！

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

芥

測試群

648466051

歡迎加入漢化

首發微博

@混成連合會

壽丸滾滾漢化

順位17 / 23

W J 2 0 2 3

N O

04&05

第92話

少主溜得快

監製

童話

招募案

首發微博
@混教連合會
測試群
648466051
(翻譯&教字)

翻譯
日語限定
過了測試就行
有2-3輪測試
校對不直接測試
依情況而定

嵌字
細心
會辨別字體 PS熟練
且有一定空閑時間
通過測試即可
需基礎可教學
測試時限3個月

混教連合會